# コロナ禍における
# 出勤状況調査の結果

**＜調査概要＞**

目的：コロナ禍における企業の出勤状況を定期的に把握し、今後の企業への働きかけ等の参考とする。

調査対象：時差Biz登録企業、過去に実施したアンケートへの回答企業等

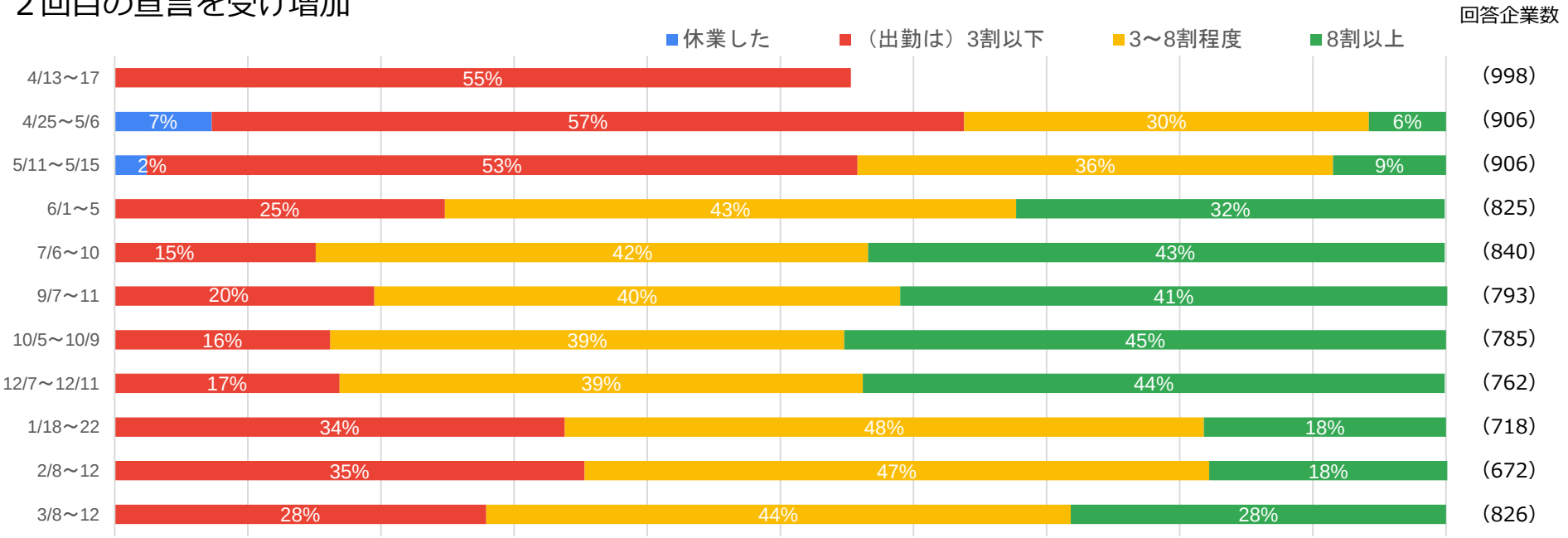
調査方法：WEBアンケート（2020年４月から2021年3月まで、10回（11期間対象）実施）

2021年4月

東京都都市整備局

# 出勤状況の推移

出勤率７割削減（出勤率３割以下）の企業は、１回目の緊急事態宣言解除後、2割程度で推移していたが、２回目の宣言を受け増加




（各調査における選択肢）

| | |
|---|---|
| 4/13～17 | ：出勤者は3割以下/出勤抑制を実施したが3割以上が出勤/特に出勤抑制は実施しなかった/分からない |
| 4/25～5/6、5/11～15 | ：期間中は休業した/出勤者は3割以下/出勤者は3～8割程度/出勤者は8割以上 |
| 6/1～5以降 | ：ほとんど出勤していない/1割～3割/3割～5割/6割～8割/8割以上 |

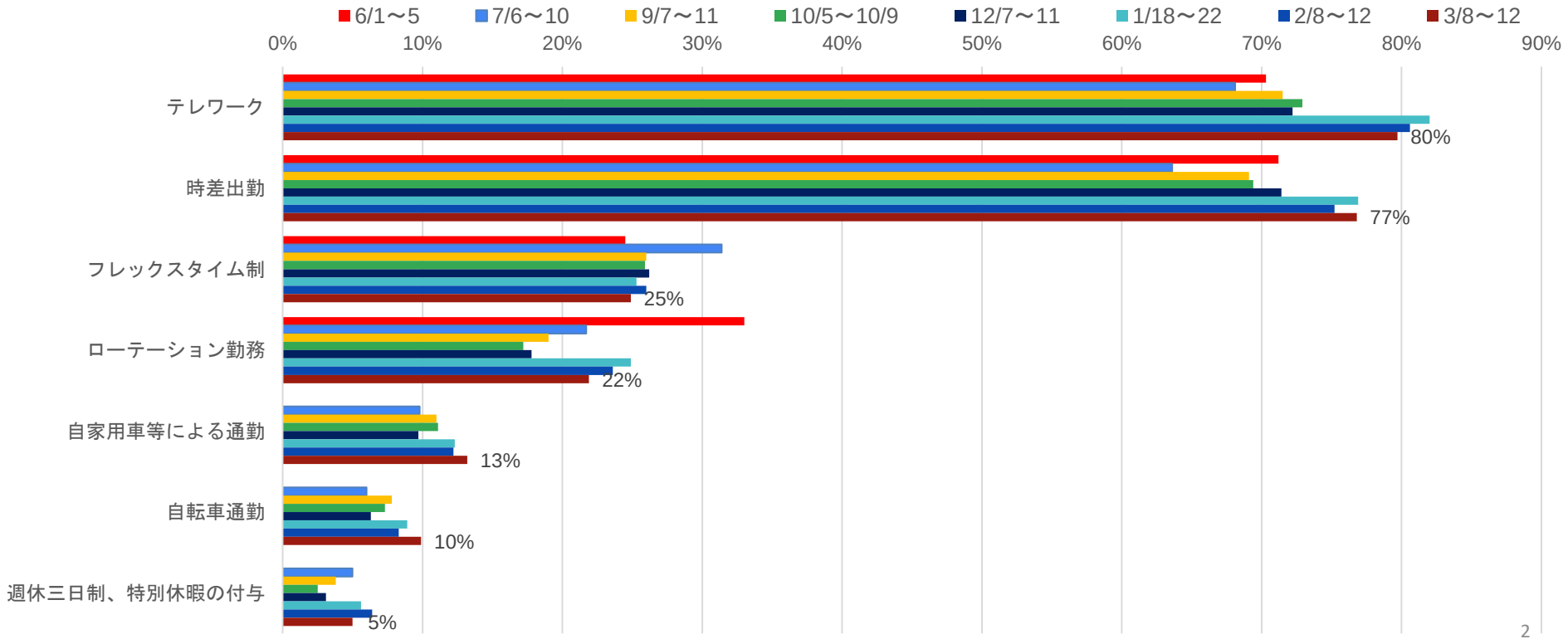


（注）各計数は、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、合計等に一致しないことがある。

スムーズビズ Smooth Biz

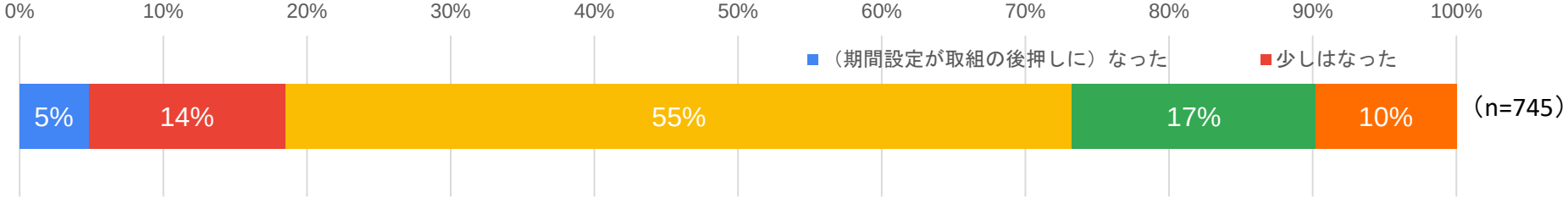
# テレワーク、時差出勤等の取組割合

調査当初から取組割合は高かったが、２回目の緊急事態宣言に入り更にその割合が増加し、約８割に到達



# 冬のスムーズビズ実践期間（R2.12.1~R3.2.28）への評価

回答企業のうち、冬のスムーズビズ実践期間が、取組の後押しに一定の効果があったと回答した企業は約２割であるが、６割の企業が、期間設定の有無に関わらず取組を実施していたと回答




## 冬のスムーズビズ実践期間の概要

**1　期間**

令和２年１２月１日（火）～令和３年２月２８日（日）

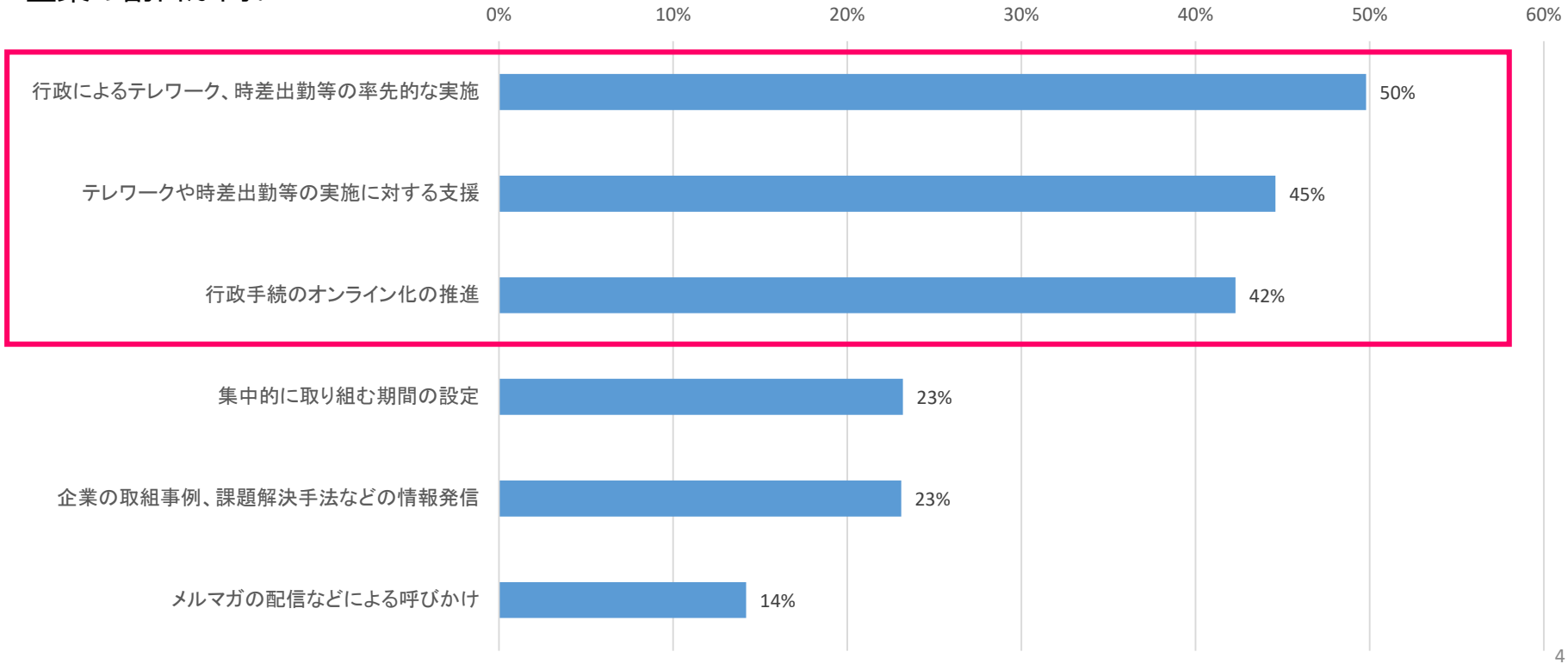
**2　企業の皆様に呼びかけた内容**

「新しい日常」における働き方であるテレワークや時差出勤　など、スムーズビズの取組の実践・継続

※感染症対策に加えて、大雪時や災害時の事業継続の備えとしても取組を呼びかけ

# テレワーク・時差出勤の継続に当たって有効な取組

行政の率先した取組、テレワーク等への支援、行政手続のオンライン化などが有効であると回答した企業の割合が高い



住んでいる人も、訪れる人も、より快適な東京へ

# スムーズビズ

Smooth Biz

引き続き、感染症対策としても有効なテレワーク、時差出勤など
スムーズビズの取組の継続にご協力をお願いいたします。